

## 地域福祉に関する意見交換会結果について

### 1 ボランティアセンター登録団体及び福祉団体

平成25年4月2日(火)～4月24日(水)

計11回開催 43団体

#### 主な意見

- ・制度の狭間で悩んでいる人を地域で支えるしくみがあるとよい。  
→歩いて行ける距離に、気軽に話せる「場」があるとよい。
- ・困りごとがあったとき、相談ができる場所を自分で探し、市役所やその他の相談機関まで相談に行ける人はよいが、一人で考え込んでしまい、相談できずにいる人を支えることが必要。
- ・地域では、子ども会やシニアクラブがそれぞれ活動しているが、その間の世代をつなげるような仕掛けが必要。
- ・若い世代は、地域に関しての意識が高い。むしろ、古くから住んでいる人たちへの関心をどのようにして高めるか、これから考えていく必要がある。
- ・子どもと高齢者をつなぐ世代の、団塊ボランティアの育成が重要ではないか。
- ・多世代が気軽に交流できる場(居場所)をつくることが、孤立化を防ぐことにつながる。
- ・地域と「つながりたい」と思っている人がいる反面、「つながりたくない」と思う人もいる。地域と関わりを持ちたくないという人が増えている中で、地域の中での「適度なおせっかい」が必要ではないか。

### 2 市内福祉事業所(第1回)

平成25年5月10日(金)～5月11日(土)

計2回開催 6事業所

#### 主な意見

- ・利用者の自宅前に送迎車を止めないで欲しいとの要望が増えてきた。家族に介護が必要な人がいることを近所に話している人が少なくなったように思う。(デイサービス)
- ・事業所として、自治会に加入しており、地域の清掃に職員も参加している。(グループホーム)
- ・施設の行事について、自治会の回覧板を通じて地域の方にお伝えし、参加してもらっている。(入所施設)

### 3 市内福祉事業所(第2回・小学校区別)

平成25年6月25日(火)～7月3日(水)

計3回開催 15事業所

#### 主な意見

##### <長小・東小校区>

- ・事業所を地域に開放し、サロンを開催している。今後も積極的に施設を開放し、利用してもらいたいと思っている。(居宅介護支援事業所)
- ・サービスを利用していることを近所に知られたくないため、わざわざ遠くの地域より来る利用者もいる。(デイサービス)
- ・自閉症の利用者などは、見知らぬ人にすぐに馴染める訳ではないので、簡単に施設を開放し地域の人を受け入れることは難しい。(障がい児・者施設)

##### <西小・北小校区>

- ・個人情報を取り扱う中で、事業所を地域に開放することは難しい。(居宅介護支援事業所)
- ・事業所をカフェとして開放しており、集会所や習い事の場所として地域に開放している(ヘルパーステーション)

##### <南小・市が洞小校区>

- ・事業所で作ったパンを学校で販売し、交流を図っている。(障がい・児者施設)
- ・障がい児の母親で、相談窓口を知らず孤立するケースがある。特に若い母親は、誰にも相談せず、インターネットで必要な情報を探す傾向がある。(障がい・児者施設)
- ・地元の方の利用者は少なく、他地域からの利用が多い。(特養)

### 4 民生委員児童委員・主任児童委員(小学校区別)

平成25年7月24日(水)～8月8日(木)

計6回開催 36名

#### 主な意見

##### <長小校区>

- ・近くに集会所もなく集まる場がない。
- ・一戸建ての家が多く、日中独居になる高齢者が多い。外に出てくれる高齢者は把握ができるが、関わりたくない、交流したくないという高齢者もおお把握が難しい。
- ・シニアクラブの活動は活発だが、子ども会の加入が少ない。
- ・自治会のまとまりが良く、地域でのボランティア活動も活発な地域もある。

### <西小校区>

- ・古くからの住民が多く、地域的に高齢化してきている。中にはプライドが高く、関わりを持ちたくても中に入っていけない人もいる。
- ・地域のつながりが薄くなってきた。昔は回覧板を回すのも、隣に声をかけて回したが、今はポストに入れておく場合が多い。

### <東小校区>

- ・隣近所での付き合いが少なり、また、生活レベルが上がったことで、他人の協力を得なくても大丈夫だという世帯が多くなった。
- ・関わりを持たれると嫌だという世帯が多くなり、民生委員として訪問することも難しくなってきた。
- ・高齢者の情報は把握しているが、その下の世代で働いていない人、引きこもりの人の情報・接点がなく、問題だと感じている。

### <北小校区>

- ・新しいマンションが建設され、若い世帯が多くなった一方、古くからの地域は高齢化が進んでいる地域である。
- ・民生委員としてどこまで介入していいか悩むケースもあり、困っている。
- ・シニアクラブで見守り活動が始まったが、個人情報の取扱いの問題もあり、独居高齢者の情報提供が難しい現状がある。

### <南小校区>

- ・一戸建てが多い地域だが、関わりはあまりなく、組長を知っている程度で知らない人も多い。
- ・民生委員の実態把握調査の対象外になっている人を把握するのが大変である。
- ・気軽に遊べる場所がないのか、子どもが道路で遊んでいる場面をよく見る。

### <市が洞小校区>

- ・県営住宅の集会所はほとんど使われておらず、新聞も取っていない世帯も多い。
- ・市が洞小周辺の地域は若い世帯が多く、団結しているが、丁子田地区は高齢化が進んでいる。
- ・退職した男性を地域に引っ張り込むためのイベントが必要。
- ・民生委員、自治会、子ども会、シニアクラブなど、地域に関わる団体が集まり意見交換できる場が欲しい。